

ヘルニア・肛門疾患

診療内容

(1) ヘルニア

鼠径ヘルニア

一般的には‘脱腸’と呼ばれる、下腹部の太もみに近い部分が膨れる病気です。放置するとどんどん大きくなり、ひどい場合は陰のうまで腫れる場合があり、腸閉塞の原因になることもあります。ポリエステル製のメッシュを体内に埋め込み、腹壁を補強する方法が一般的です。

従来どおりの手術法であるメッシュ・プラグ法と、近年新しく開発されたクーゲル法での手術が可能です。



体内に埋め込むメッシュ・プラグ（中）とクーゲルパッチ（右）

大腿ヘルニア

鼠径ヘルニアよりもやや太もみに近い部分が膨れます。女性に多い病気です。

臍ヘルニア

臍の部分が膨れるヘルニアです。

腹壁瘢痕ヘルニア

開腹手術をした部分が弱くなり、お腹が膨れてくる病気です。単純に縫い合わせる方法のほかに、癒着防止用のゴアテックス®で裏打ちされたメッシュを用いる方法や、傷口が小さくて済む腹腔鏡手術による修復も行っています。

(2) 肛門疾患

内痔核（イボ痔）

肛門の血管が部分的に膨れてイボ状になったものです。肛門からの出血と、痔の脱出（脱肛）が主な症状です。外用薬による保存的治療が主ですが、出血や脱出がひどい場合は手術の適応となります。また、外来の場合は RBL 法 というゴム結紮器を用いた方法で治すことが出来ます。

外痔核（イボ痔）

やはり肛門の血管が部分的に膨れてイボ状になったものです。肛門の出口に近い部分に出来ます。肛門の痛みが主な症状です。

痔瘻（痔ろう、アナ痔）

肛門が化膿（肛門周囲膿瘍）した後に、その穴がいつまでも治らず、ずっと膿が出続ける病気です。

裂肛（キレ痔）

肛門の出口に近い部分が切れた病気で、痛みが主な症状です。便秘で硬くなった便を無理に出そうとする時に肛門が裂けたり、便で傷つけることがあります。

疑問、質問のある方は、遠慮なく受診時に担当医師にお尋ねください。

外来日：月曜日から金曜日まで毎日 受付時間：午前 8:00～11:00